

放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善

チェック項目	山梨県 富士吉田園			
	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	3	0	0
	2 職員の配置数は適切であるか	1	2	0
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	2
	分析	・職員の配置数については「どちらともいえない」が散見されるが、現在の利用者数においては、概ね職員の配置数は問題ないと考えています。・施設については、放課後等デイサービスの指定基準以上の広さを確保しています。・車いすを使用する児童がいるため玄関の段差に配慮が必要です。		
	改善方針	・2018年4月より週に一度、全職員(常勤・非常勤)の打ち合わせを実施し、情報を共有できるようにします。・法人としては教育制度の導入により外部・内部研修を推進しています。内部研修においては、2017年11月から2018年3月まで、計5回全職員に対して内部研修日を実施しました。・車いすを使用する児童が利用する際は、安全を確保する必要があり今後バリアフリーの工事を検討する。		
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2	0
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	2	1
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	0
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	2
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	0
分析	・日々の業務の中で保護者の意見を聞き、面談を行いました。第三者による外部評価は行っていませんので、今後検討していきます。・法人の情報開示については東京都八王子市市民活動支援センターの情報開示2017年認証基準に達していると認められました。			
改善方針	・2018年4月より週に一度、全職員(常勤・非常勤)の打ち合わせを実施し、情報を共有できるようにします。・法人としては教育制度の導入により外部・内部研修を推進しています。内部研修においては、2017年11月から2018年3月まで、計5回全職員に対して内部研修日を実施しました。			
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を実施しているか	2	1	0
	10 子どもの適応行動の状況を固めるために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	0
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	0
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	0
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	1	1	1
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	2	0
	15 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	0
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	0
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	0
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	1	2	0	
分析	・職員間で療育方法の共有がうまく計れていませんでした。			
改善方針	・アセスメントで得た情報や日々の療育の内容を確認し、職員間での支援方法を共有していきます。・2018年4月より週に一度、全職員(常勤・非常勤)の打ち合わせを実施し、情報を共有できるようにしました。			
関係機 関や 保護者 との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	0
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	0	0
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡調整を怠っていないか	0	2	1
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	1	2
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	0	2
	25 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	2
	26 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	0	0
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	0
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	0
	分析	・公園等で障害のない子どもと活動する機会はあるが、放課後児童クラブや児童館での交流はありませんでした。・社会福祉協議会からのボランティアの受け入れを積極的に行っていきます。・地域の催事等に積極的に参加しています。・障害福祉サービスに移行するケースはまだないですが、その場合は積極的に情報を提供していきます。		
改善方針	・放課後児童クラブや児童館に出向いて交流を図っていきます。・ペアレント・トレーニング研修の導入の検討をします。			
保護者 への 説明 責任 等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明は行っているか	3	0	0
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1	0
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	2
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	0
	34 定期的な会報等発行、活動履歴や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	0
	35 個人情報に十分注意しているか	3	0	0
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	1
	分析	・正職員においては会議・ミーティングの実施、また業務システムにより情報の共有がなされていた。		
	改善方針	・全職員において毎月発行している情報誌(ベルテールニュース)を確認します。・2018年4月より週に一度、全職員(常勤・非常勤)の打ち合わせを実施し、情報を共有できるようにしました。		
非常 時 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	0
	39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	0
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	0
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に反映しているか	3	0	0
	42 食中毒対策のある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	1	0	2
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	0
	分析	・避難訓練等を毎月実施しています。・産前産後については、毎月内部研修を実施しています。・ヒヤリハット事例集を作成してリスク管理委員会にて、月に1回全園でリスク委員会を開催し、ヒヤリハット情報を取りまとめ、共有をしています。・概ね、リスク管理対応については周知できていると考えます。しかし一部の職員において、徹底できていない部分があったので、集中的な内部研修(非常時対応)の実施を行います。		
	改善方針	・リスク管理委員会の内容を非常勤の職員に対してフィードバックの徹底を行っていきます。・2017年11月から2018年3月まで、計5回全職員に対して内部研修を実施しました。		